2024年(令和６年)

JGA 全国通訳案内士新人研修会

Daily Report

■関西地区■

第一日・2/17(金)　講義＋京都駅ビルウォーキング実習

JGA の新人研修はまずは終日の講義から始まります。関係法令や業務知識、団券やクーポンの取り扱い、日本の旅行事情、食事の対応、お客様を案内する上での注意点などの講義を通じ､ガイドの役割や責任を意識の中に入れて頂けるようにという思いが込められています。どの場面を切り取っても､文化の橋渡しとなる一言がどれほどの変化をもたらす可能性を持っているのか、先輩方の体験を交えて実感して頂く良い機会となれば幸いです。　（講義会場　京都テルサ）

よき仲間づくりの大切さと二万歩/日を超えるかもしれない関西研修のスタートに､体力維持に努めて頂けるようにという大事なアドバイスもそえられました。

初日は、夕刻からの京都駅ビルのウォーキング実習で明日の集合場所でもある八条口バス乗降場や観光地としても美しい京都駅ビルを探訪して、長くも充実した一日を終了しました。

第二日・2/18(土)　京都バス実習　＋　東山祇園ウォーキング

いよいよ待望のバス実習開始です。バスに乗って、車窓からの景色を眺めながらガイド役の講師の話を聞き、バスを降りて、世界遺産の歴史的建造物を訪れて、靴を脱いで、美しいお庭や見事な襖絵や天井の芸術鑑賞等々。午前中は、龍安寺、金閣寺、二条城と世界遺産３カ所を回ります。バス実習では、お客様の目線で「京都観光」を体感しつつ、ガイド目線でご案内のコツと要領をしっかり学習します。よく知っているはずの名所旧蹟、よく分かっているつもりの歴史や文化。何度も訪れている京都も、海外からのお客様をご案内するという意識を持って研修に参加すると、今まで全く気付かなかった発見の数々に驚きます。

本来であれば、閑散期であるはずの２月の京都。それでも今年は　金閣寺や清水寺、祇園など、インバウンドに人気の観光地では　多くの訪日旅行者に出会います。春の繁忙期には更なる混雑となることが予想され、どんな動線でどうお客様をご案内するか、迷子を出さない為にはどうすれば良いか、渋滞の際にはどんな対応が可能か、団体とＦＩＴの拝観手続きはどうなっているか等々講師のきめ細やかな説明を真剣にメモし、不明点をしっかり確認する受講生。

受講生の中には、前年までに通訳案内士試験に合格し、それぞれのエリアで既に活躍しているプロのガイドも多く、関西地域も活動エリアに加える為に参加されたり、久しぶりの関西ツアーの前に効率的に下見をする為に参加されたりと、参加の目的は様々です。皆さんに共通しているのは、経験豊富な講師からできるだけ多くの事を学びたい、せっかくの京都滞在時間を最大限に活用したい、という熱心な学習意欲です。

ランチ休憩を兼ねたお昼休みは、寺町通と御池通の交差点付近でバスを降車して開始。午前中、頭も身体もフルに使い、少しはゆっくりお昼を食べたい気持ちをぐっと抑えて、多くの受講生が錦市場や寺町通の人気のお店を足早に確認していました。

バスでの実習は、清水坂の中腹にある観光駐車場で終了。その後は、清水寺を拝観後、さらに京都らしい雰囲気を楽しめる東山～祇園界隈のウォーキング実習で清水坂から産寧坂、二年坂の道を下りつつ祇園へと。この頃になると、足は疲れ、身体は重く、集中力を保つのにも努力が必要です。そんな中、一日中先頭に立ってずっと話を続けながら軽やかに歩く講師の後ろ姿に、改めて尊敬の念を抱きます。ガイドは健康第一、体力が基本、が身に沁みます。祇園四条の近くまで歩き、充実の京都実習を終了しました。

第三日・2/18(日)　バス実習 伏見稲荷・大阪・関西空港・新大阪駅

人気スポットの伏見稲荷大社から。それぞれのイメージを抱いて来日されるお客様。色々なケースが考えられます。千本稲荷に直行？　階段は無理なく登れますか？　実際に慌てることのないようにと実習で学びます。　どこで引き返しましょう？　どこで集合としておくといいでしょう？　決めて伝えておくタイミングも重要です。伏見稲荷一つを取ってもポイントがたくさん。

京都から大阪、大阪から関空の移動では、バスから見える景色や、ロングドライブの話題について。「皆さん、最初の 20 分は、頑張ってマイクを持ちましょう！　そのあとは、フェイドアウトもあり…」。さまざまなトピックの例も共有しました。

　２つ目の降車地は大阪城公園。歴史を全て語るのは至難の業。限られた時間の中でどのような案内をすれば、お客様の心に響くのでしょう。そのポイントを考えながら広大な公園内を降車場所から天守閣へ。降車場所と乗車場所が違うパターンを経験。

道頓堀では歩行者でごった返している中を前後に JGA の旗を掲げて移動。大阪ならではの風景です。立ち寄りどころとなることが多い場所を解説しながら移動後自由昼食となりました。再集合のバスの中はテイクアウトを選ばれた受講生の方々の昼食、たこ焼きのいい香りが漂いました。

さて、昼食を終えてバスは関西空港へ。高速道路がビルの間を縫うように走るザ・大阪の景色の中、お客様にご紹介したい建物、目を引く建物を車窓からチェックします。

リニューアルが進む関西空港では、施設の見学とともに、出発階でセンディングの要領と注意点、到着階ではさらに大事なミーティングの手順を確認しました。立つ場所を決める前にチェックするポイントを講師と一緒に実際に歩きながらシミュレーション。連絡する鉄道駅では JR パスの扱いもおさらいです。

関西空港からの移動時には恒例のマイク体験。

市内に戻り、今年度はもう１箇所、梅田スカイビル空中庭園の実習が続きます。シースルーエレベーター・エスカレーターを含む展望台へのアクセスを確認し、暮れなずむ大阪を展望しました。

最終目的地の新大阪駅では、バス乗降場から新幹線改札までの動線をチェック。南改札を前に団券の場合の手順や注意点を確認して、終了となりました。

第四日・2/19(月)　奈良バス実習 ＋名刺交換会・講義・修了式

バス実習の最後は京都発の日帰りを想定した奈良の実習です。小一時間の道のりを体感しつつ奈良公園へ。実習が実りあるものとなるよう、往路のバス内ではマップを広げてのオリエンテーション。そして案内をするにあたっての講師のアイデア、コツなどを紹介。話題に上がった比較的新しい観光施設や平城宮跡近くを車窓で確認しながら、バスターミナルに到着。渋滞による遅れも受講生の皆様の協力で取り返しながらすすみました。

小雨に見舞われましたが､講師おすすめのスポットで小休止を取りながら、神秘的な春日大社若宮も回り、大グループの場合のお連れできない場所や、その場合でも楽しんで頂ける工夫を紹介。ならまちまではマップを片手に自由散策後昼食。行きの車内でのオリエンテーリングを大いに役立てて頂けたのではないかと思います。興福寺を含め奈良の魅力をご紹介した実習でした。

京都への帰路は再び一人 1 分 30 秒と区切ってのマイク体験。無事終えて、ほぼ予定時刻に研修会場へ到着しました。

午後研修会場に戻ってからは、まず旅行会社のガイドアサイン担当様より特別講義と Q&A。今後のインバウンド・ツーリズムの予測や、求められるガイド像など、みんな真剣に拝聴しました。そして、会長から笑顔で修了証を受け取り、研修自体は終了です。

その後に、お忙しい中ご来場くださった旅行会社様・人材派遣会社様との名刺交換会。新しく賛助会員になられたエージェント様を含め、13 社がご参加くださいました。今年は関西に業務範囲を広げたいという受講生が多く、例年よりも活気があった印象を受けたとの旅行会社様からのお声も聞こえます。

訪日観光が、来日されるお客様にも、受け入れる地元の方にも気持ち良い出会い、笑顔の経験となるよう努めていきましょう。ご活躍をお祈りします！

オプショナル　2/21(火)　ウォーキング嵐山実習

この日のオプショナル「ウォーキング嵐山実習」は、関西新人研修からの継続参加者に加え、この日だけの参加を希望する JGA 会員・非会員の方達もご一緒に行われました。

2月らしい寒さ厳しい日でしたが、受講生の皆さまは集合時間よりかなり前から元気に集合場所である JR 嵯峨嵐山駅改札に続々と到着。全員集合を待つ間に、講師から本日のウォーキングルートをマーカーで示した地図が回覧され、皆さまスマホでパチリと撮影。さらに全員集合後、駅前広場にある大きな嵐山の地図の前でも、改めて講師から具体的にルート説明。

四季折々の美しさのある嵐山。今回集合場所とした JR 以外にも、嵐電（京福電鉄嵐山線）や阪急電車で嵐山に来る選択肢もあり、嵐山の観光においても今は冬期で休業中のトロッコ列車を含め、人力車や川下り船やボートなど、色々な乗り物を楽しむことができます。風光明媚な嵐山を満喫できるよう、様々なコース取りや乗り物についてご説明。

団体バスの駐車場や、観光ガイドとして忘れてはいけないトイレの場所、お子さんのいらっしゃるご家族に特に人気のモンキーパーク、京都らしい風習「十三まいり」にまつわる講師ご自身の楽しい思い出、色々な用途に使われている「竹」のこと、植物のこと、お食事処、懐石料理、お客様とのいろんなエピソード、講師の話題は途切れることなく続きます。途中、雨が降り始めて時折傘をさす時間もある中、受講生の皆さまは元気に熱心に講師の説明に耳を傾け、積極的に質問します。

　嵐山を一通り巡った後、ランチ時間を兼ねた昼休みの自由時間を１時間強とってから、嵐山天龍寺前（嵐電嵐山駅）バス停で再集合の上、バスで愛宕念仏寺へ移動し、愛宕念仏寺の一般の参拝者自らの手で彫られた 1200 体もの羅漢像の愛らしさを鑑賞してから、嵯峨野ウォークへ。嵯峨鳥居本の美しい茅葺屋根のレストランや街並みを歩き、町並み保存館でこの地の歴史を学び、嵯峨野エリアの各名所についても知識を深めながら、スタート地点の JR 嵯峨嵐山駅前広場に戻ったところで本日の実習を終了すると同時に、2024 年関西地区の新人研修全日程を終了しました。

今年の修了生の皆様の中にも、この春から観光ガイドとしてスタートされる方、今までよりもエリアを広げられる方、ＦＩＴから団体ツアーへ、またその逆へと仕事の範囲を広げられる方、様々な方がいらっしゃると思います。京都で、大阪で、奈良で、または日本のどこかのガイドの仕事の現場でお会いできる日を楽しみにしています。皆さま、ごきげんよう！

■関東地区■

第一日・3/1(金)　講義　（浅草・台東区民会館にて）

JGA の新人研修はまずは終日の講義から始まります。全国通訳案内士の仕事は、お客様に日本について語るのはもちろん、プロとしての業務知識も求められます。団券やクーポンの取り扱いなどの実務、関係法令など基礎からしっかりと学べるのは新人研修ならでは。

　さらには、日本の旅行事情、食事の対応、お客様を案内する上での注意点や配慮など、講師を務める先輩ガイドからお伝えしたいことがいっぱいあります！　すでにガイドとして稼働をしている方も、この研修が終わり次第デビューしようという方も、もっと勉強してじっくり準備してからと思っている方も、各講師の話に頷きながら熱心にメモを取っていらっしゃいました。

実習用のイヤホンテストを済ませ会場を出ると、外は訪日客のあふれる浅草の街。メディアでよく紹介される風景の中にガイドをする自分の姿をイメージできたでしょうか？

第二日・3/2(土)　バス実習　都内・成田空港

大型バスで定刻通り鍛治橋駐車場を出発。ドライバーさんの紹介に続き、出発時にはシートベルト着用の案内を忘れないようにという講師からの一言。プロのガイドの大事な役割の一つを早速確認しました。

まずは都心から浅草方面への移動を想定したドライブへ。よくあるルートの一つ中央通りで日本橋、秋葉原電気街、上野と次々に通りながら、車窓や時間を意識します。すいすいと浅草へ近づくのは土曜日の朝ならでは。バスの乗降ルールを理解することが必須の浅草観光について、乗降場を車窓で確認しながら考えられるパタンをシミュレーションしていきます。どの降車場を使うか、雷門を車窓で見せて走るかどうか・・。

浅草から都心へは首都高を使って戻り、眺めの違いを実感しました。

郊外へのツアーと違い、東京観光はバスに乗ったり降りたりの繰り返し。ランドマークも一瞬にして通り過ぎていきます。タイミングを外さず、要領よく、簡潔な説明が必要です。

皇居外苑では、楠公駐車場から北風に震えながら二重橋を往復。バスだけでなく、ハイヤーの場合や地下鉄の場合のルート、お客様からよくでる質問、用意しておく話題の例など講師の話に皆さん集中しています。「パレスが見えない」と言われないよう一工夫を。つぎは 国会議事堂、迎賓館、神宮外苑を車窓に明治神宮へ。普段の生活であらためて意識することのない日本人の宗教感や神道について、どうしたら腑に落ちる説明ができるのか、講師の例を参考に考えます。広い境内で迷子を出さない実践的テクニックも学びました。さらに表参道、南青山、六本木を経由して東京タワーへ。メインデッキから「鳥の目」で眺めながら、東京の何を見て感じてもらいたいですか？

昼食休憩後は成田空港に向かってバスを進めました。休む間もなく講師の説明は続きます。「東京」というある意味とらえどころのない大都会をどのように見せるのかがガイドの腕の見せ所。同じものをお客様にお見せしても、ガイドの説明、力量によってお客様の東京に対する印象はガラリと変わることが分かりました。

成田空港ではまず出発ロビーへ。スマートチェックインや顔認証システムも導入され、かえって動線が分かりにくくなった面もあります。講師からは実際の旅客の動きを見ながら最新の出発手続きの説明がありました。その後は国内線ロビーを経由してミーティング業務の舞台、到着ロビーへ。どこに立ったらよいのか、両替やトイレの場所を聞かれたら説明できるか、グループで最初に出てきたお客様と最後のお客様の時間差がある場合は、どのようにしたらグループを一人でまとめられるのかなど、いろいろなことを想定してシミュレーションしました。最後に地下の駅も確認し、ＪＲパスの扱い方も学びました。

最後にお台場のビューポイントを確認し、豊洲市場前にオープンした最新施設「千客万来」を車窓で眺めつつ、東京駅日本橋口にて研修終了となりました。

第三日・3/3(日)　バス実習 日光

　今日も皆様早くからお揃いで、集合時間とほぼ同時に出発できました。本日は都内発着のエクスカーションの形です。都心から郊外へと移り変わる様子、途中の風景など車窓を眺めながら、目的地へのロングドライブではどんな話ができるか、時間配分をあわせて考えます。講師は自分の例、他のガイド仲間の経験などを織り交ぜて盛りだくさんのアイデアを授けてくれました。日光に行く＝見る事物を語る、だけではなく、その背景やかかわる人々そして取り巻く自然をどんな形で紹介するか、参加者各自の視点で幾通りもの案内ができることでしょう。

　日光へはバスでなく JR や東武の特急利用で来ることも。そして、日光といえば紅葉の季節の大渋滞！季節ごとの注意点もチェックです。

　緑濃い山の斜面に建てられた堂宇の数々。手すりのない階段。常にどこかで改修作業が続けられることで保たれる国宝群。「これはぜひ注目」の意匠についてしっかりと自分の目で確認です。相変わらず見るものがたくさんでメモ取りも大変だけど、お客様を集合場所にどう誘導するか、身をもって実感するのも研修です。今日はお天気に恵まれ、心配していた残雪は日陰に少し凍っているだけで歩き回れたのはなによりラッキーでした。神橋そばでの昼食の後は、金谷ホテルも見学。丁寧にご案内いただきました。

　食後にいろは坂を上がり始めると次第に外が真っ白に・・。中禅寺湖畔ではブルブル震えるほどに。「山」の天気を体感です。冬場の華厳の滝は水量少なめ。予想通り・期待通りにいかないこともあると経験したのはきっと役にたちます。

　帰りのバスでは参加者にマイクを回し、制限時間でどれだけ話せるか体感してもらいました。参加者同士の会話も増えて、お仲間が出来つつあるのを感じる日光一日研修でした。

第四日・3/4(月)　バス実習 富士山・箱根

　都内・日光に続きバス実習の最後は富士山・箱根です。ベテラン先輩ガイドの見送りを受けて東京鍛冶橋駐車場を出発。左右・前方に見える建物や景色をテンポ良くリズムに乗って紹介する講師に感心しつつ、聞き漏らすまいとペンを走らせる受講生。客観的なガイディングに留まらず講師自身の生活を交えたストーリーに拍手が送られるなど、バスの中に一体感が生れます。ガイドと運転手さんとの連携のコツも目のあたりに。

そうしているうちに日本一有名な山が視界に入ってきました。眩しい太陽にキラキラ反射する雪をまとった富士山がどんどん近づいて来ると全員大興奮！いつもこうだと良いですね！

富士山世界遺産センターを見学して、スバルラインに入り一合目下駐車場へ。富士山はどの方向にどのように見えるのか、今日はよく確認できます。河口湖ではバスをとめられる写真スポット、団体・個人向けレストランの選択肢などもチェックしました。

箱根では、富士山のビューポイントを確認しつつ、満足度を上げるトリビアもしっかり教わります。遊覧船やロープウェイの組み合せの工夫やハンドリングは箱根をガイドする上で必須のこと。繁忙期や悪天候時のことも考えてしっかりカバーします。海外のお客様にも人気の箱根寄木細工。制作過程を紹介する実演の見学は、参加者にとっても驚きとともにその価値を再認識する経験となりました。お客様にも見せたいですね！

旧東海道杉並木、関所跡を散策し、箱根を後にしました。帰路は一人ひとりマイクを持って話す体験、ユーモアあふれる内容に一同笑いの渦。ベテラン運転手さんの安全運転のおかげで予定ピッタリの時刻に新宿に到着しました。三日間のハードな?! 実習にも関わらず、受講生の皆さんは元気よく笑顔でお別れの挨拶をして下さり講師陣もホッコリした気持ちになりました。

第五日・3/5(火)　浅草・東京スカイツリーウォーキング実習
講義・修了式＋名刺交換会

午前は３つのグループに分かれ、ウォーキングツアーの形式で浅草をじっくり実地研修。初日にバスから目視した乗降箇所と境内の位置関係を確認しながら、浅草観光の動線をたどります。バスだけでなく、地下鉄、水上バスなど、浅草へのアプローチは様々。

ウォーキングツアーの場合には、ペース配分も大事。歩きながらの観光ならではのコツ、迷子を防ぐ注意点を確認しつつ、名所浅草をガイドする自分をイメージしていきます。何度も訪れているはずの浅草もガイドの目で見直すと「こんなところがあった」「こんなことも話題になる」と発見の連続。自分が遊びに行くのと訪日旅行者をご案内するのでは、意識が変わるものですね。

東京スカイツリーでは、商業施設と一体化した中を迷わず展望台へ案内できるよう、団体の場合、個人の場合それぞれの動線と入場手続きをチェックしました。スカイツリーと浅草を結ぶ新しいルート、すみだリバーウォークを通って午後の講義会場となる台東区民会館へ戻り実習を終了しました。

午後の講義は「先輩体験談」から始まりました。昨年の新人研修を経てさっそく活躍中のお二方のお話は臨場感たっぷり。研修中に湧いてきた疑問に答えるQ&Aセッションは時間が足りないほど。ガイドにとってはお客様であり、ビジネスパートナーでもある旅行会社のご担当にお願いした講義では、最近のインバウンドの状況やガイドに気をつけてほしいこと、ガイドに期待することなど、具体例を数々挙げてのお話いただきました。

いよいよ関東研修の修了式。長いと思って臨んだ5日間も充実した内容で中身の濃いものだったとの感想が聞かれました。皆様とてもいい笑顔で、伊藤会長から修了証を受け取り、記念撮影。その後はご来場くださった19の旅行関連の会社の方々と個別にお話をする名刺交換会に臨みました。緊張の中でも互いを知りたい、一緒にお仕事をしてみたいという思いを伝える機会になりました。これからは講師も受講者も同じ全国通訳案内士の仲間です。皆様のご活躍を祈るとともに研修会や街角でまたお会いする日を関係者一同楽しみにしております。

オプショナル　3/6(水)　ウォーキング鎌倉実習

都内からの小旅行先として人気の鎌倉。鎌倉も実習して関東の主要観光地をすべて押さえたいというご要望におこたえするウォーキング鎌倉実習は、新人研修から通しでご参加の方、鎌倉だけあらためてご参加の方の合同研修です。

２グループに分かれ、午前は長谷エリアの高徳院大仏と長谷寺、午後は鎌倉駅を起点に桜並木の段葛、鶴岡八幡宮、小町通、鏑木清方記念美術館を回りました。四季折々に日本人にも人気の鎌倉を電車やバス、徒歩で案内するモデルコースをたどりつつ、江ノ電の混雑、バスの渋滞、歩道の混雑などの注意点を確認。ペース配分、ランチ休憩の場所も大事です。お買い物情報、レストラン情報、フリータイムの取り方。一方で、鎌倉をどう紹介するか、鎌倉の魅力、鎌倉の特徴は何か、考え続けるのもガイドの糧です。大仏さまを前に何を話しますか？ 鎌倉彫の特徴は？ 貸切バスの場合のコース例や駐車場、交通規制と渋滞問題も忘れずにカバーしました。

鏑木清方記念美術館では、学芸員の方から画材なども解説いただき、「日本画」とは何かあらためて考える機会となりました。

身をもって体験したウォーキングツアーの疲れ具合、案内される立場での話の聞こえ具合、集中力を保つにはエネルギーがいることなど、お客様をご案内する際にぜひ思い出してくださいね！